



Let's study!

イングリッシュ・デイ・キャンプに参加した小中学生と県内ALT（英語指導助手）



海陽町議会だより

12月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **47** (2018.2)

おもな内容

ネコ条例制定	8P
行政報告	13P
一般質問	14P

海陽町議会では、総務産業建設・文教厚生部の2常任委員会、海南病院改革特別委員会を設置しています。本会議から付託された議案を12月11日、12日、13日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。

総務産業建設常任委員会

4月22日
町長・町議会議員の同日選挙

委員長 原 ひろみ

12月12日開会

開会直後、浅川避難路要望箇所と大里松原へ巡視。その後、定例会提出議案について説明を受けた。

専決処分の承認を求めることについては、衆議院選挙に掛かった費用1593万円。

附属機関設置条例の一部改正は、法律改正により総合計画策定の義務がなくなったが、魅力ある町の将来像を考える上において必要となる総合計画を策定し、審議を行う

総合計画策定審議会を附属機関設置条例に加えるもので、委員は14人。

町営残土処理場の設置及び管理に関する条例の一部改正は、現在の3施設に加え、穴喰川馳馬堰上流土砂を処理するため、塩深に追加するもの。処理費1㎡当たり1000円。委員から残土処理場の確保が難しくなれば県はどうするのか。町民が穴喰川の土砂も利用できるよう県に要望をとの意見が出た。

町営住宅管理条例の一部改正は、公営住宅法の改正により、認知症や知

的障害者、精神障害者などの収入申告義務の緩和ができるものである。

平成29年度町道海南柿谷線・神野橋上部製作工事請負契約は、契約金額9803万1600円、契約相手はノヴィルパブリックワークス(株)。本年度は工場製作のみで、平成30年度以降に架設、31年春頃開通予定。

徳島県市町村総合事務組合規約の変更については、変更する場合、議会の承認を求めたため、議会の承認を求めるもの。平成29年度一般会計補正予算は、4億3601万8000円。

総務関係は、春に予定の町長・町議会議員の選挙費259万円、スポーツ振興くじ助成金640万円。

産業観光関係として、

2月に予定の明治大学マンドリン倶楽部演奏会の費用122万円、きゅうりタウン施設整備・養液栽培ハウス施設補助に1億2842万円、浅川漁協釣り筏事業補助金314万円、マリンジャム屋根修理ほか563万円。

建設関係では、町道維持修繕費(台風被害)600万円、鞆浦地区排水対策事業費4920万円、県単急傾斜崩壊対策事業(岡山地区・笹無谷地区)1330万円。災害復旧関係として9月豪雨災害で、町道小川口線600万円。台風18号被害で町道計石線500万円、林道笹無池ヶ谷線825万円。台風21号被害で町道岡山橋ヶ谷線と浅川大山線に1億2110万円、林道内妻線225万円。

その他、大田天神社付近の住民の避難路の整備についての陳情書は全会一致で採択。大里松原の保全・管理に関する請願書は委員会で採択した

が、町と必要経費等を協議することとなった。道路財団法における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書は採択し、国へ意見書を提出することとした。

その他、高さの低い避難タワーのあり方の問いには、除去費用が高額なため、有意義な使い道を

考えたいとの答弁があった。穴喰地区に避難タワーを追加要望については、穴喰防災公園を進めているので、優先順位を付けて事業を進めるとの答弁であった。

他にも様々な協議があったが、概要は以上のとおりで12時19分委員会を閉会した。



巡視：請願の提出された大里松原

○9月豪雨災害

- ・町道小川口線災害復旧工事

600万円

延長 14 m、
モルタル吹付工



小川口線

災害復旧

○台風18号被害

- ・町道計石線災害復旧工事

延長 12 m、
コンクリートブロック積工

500万円

- ・林道笹無池ヶ谷線1号箇所

延長 48 m、
植生基材吹付工

825万円

○台風21号被害

- ・町道浅川大山線災害復旧工事(3ヶ所)

コンクリート吹付法枠工

1億1560万円



第1工区(延長 50m)



第2工区(延長 33m)



第3工区(延長 11m)

- ・町道岡山橋ヶ谷線災害復旧工事

550万円

延長 11 m、
モルタル吹付工



岡山橋ヶ谷線

- ・林道神野内妻線1号箇所

225万円

延長 13 m、植生基材吹付工

- ・マリンジャム屋根修繕費

563万円



損傷したマリンジャムの屋根

新たな観光事業に



釣り筏を設置予定の海域

浅川漁業協同組合 釣り筏事業補助金

314万円

浅 川漁協において
観光事業の一環
として、釣り筏事業に
新たに組み込むため、
沿岸漁業振興事業補
助金を活用します。
規模：12m×12m
(トイレ付き)

安全安心に！ 災害に強い町へ

鞆浦南町地区 幹線排水路改修事業

4920万円

平 成27年9月24日の大雨により、鞆浦南地区が浸水被害を受けました。
今後、大雨にも強い町にする必要があります。排水が円滑にできるよう、排水路を改修するための事業を開始します。

好評につき再び

明治大学 マンドリン倶楽部 演奏会

122万円

前 回好評を得た演奏会を、
昨年引き続き今年も行
います。

平成30年2月28日（水）
海南文化館



明治大学マンドリン倶楽部

一大産地に向けて



今年度整備されたきゅうりハウス

産地パワーアップ 事業補助金

1億2842万円

き ゆうりタウン構想の実現に向けて、
国の産地パワーアップ事業補助金を
活用し、養液栽培ハウスを新設します。
事業内容：15a×4件＝60a
内訳：国庫補助金 9173万円
町上乗せ補助金 3669万円

海南病院改革特別委員会

包 括ケア病床導入で増収

委員長 長岡 秀一郎

12月11日開会。

午前10時20分より第一

委員会室において、委員全員、町長、副町長、松田海南病院事務長、大崎事務長補佐出席の中、開会した。

事務長より外来・入院の状況、医師派遣による担当医の週間予定表の説明を受けた。実績は6月から8月は少々減少傾向にあったが、11月から回復に向かっているとのことである。

今年2月より10ヶ月包括ケア病床を実施した結果、約1500万円程度の増収になっている。今後も患者の確保に向けて努力をしていくとのことである。

現在、入院関係の事務

処理はニチイ学館に委託しており、保険請求の減点を抑えることができ、収入増に結びついている。今後、外来にも費用対効果を考慮し、導入を検討したいとの説明があった。

その後、質疑に入り、委員の主たる意見は、病院には多額の繰出をしている。地域住民が期待するのは、安心して最後の看取りをお願いできる終末医療の受入れである。もう少し積極的に取り組んでいただきたい。また、

長期入院により診療報酬が減額され、経営収支が厳しくなるのであれば、海南特養との連携も考えればどうかとの声もあった。また、一般病床も空きがある。療養型の病床を入れることはできないのかとの意見もあった。

町長、事務長より、包括ケア病床は60日、一般病床は24日の在院日数規制があり、その結果として診療報酬が決定される。その中で、できるだけ看取り患者の受入について努力をしていきたい。

特養については、施設の老朽化も進んでいる。海南病院との連携については、特養の民間委託を含め検討中であり、難しい選択をしなければいけない時期に来ている。療養型を取り入れるとなると、新たなナースステーション、スタッフ、



海南病院・海部病院・海部消防の連携会議



四国DMAT実働訓練

包括ケア部門との遮断をしなければならぬとの見解を示した。

また、職員の退職については、検査技師1人の退職予定と、リハビリ担当が産休により休職予定であり、補充の必要性がある。医師確保は補助金を出して、地域に派遣する制度ができ、地域枠医

師の派遣を徳大にも働きかけている。来年すぐという訳にはいかないが、海部・那賀モデルから平成31年派遣してもらえば、常勤医師が1人増える。海南病院は地域医療の最後の砦なので、頑張って取り組んでいくとの答弁を受け、11時15分委員会を閉会した。

文教厚生常任委員会

給食センター3月完成

委員長 三浦 茂貴

12月13日開会。

まず、穴喰保育所と海陽学校給食センターの二施設の巡視に行った。

その後、本定例会、提出議案の所管の部分の調査と付託された2件の要望書の審査、その他の調査に入った。

最初に、町費負担教職員の採用及び給与等に関する条例の説明があり、町費負担教職員の給与などを県費負担教職員と同様にし、担任が持てるなど、同様の指導をできるようにすることであった。委員より、町費負担教職員と県費負担教職員とは、どの程度の給与差があるのかとの問いがあり、初任給で2万円弱、県費負担教職員が

ついて協議を行った。

民生費2187万円の主なものは、福祉避難所の食料や簡易トイレなどの備蓄品購入69万円、民間保育所の運営委託料1308万円、春休み未就学児預り事業委託料35万円、婚活イベント補助金15万円などであった。民間保育所の委託料について、委員より、町の保育所が

高いとのことであった。また、根本的に特別支援教員のスキルを上げることの方が先ではないのかとの問いには、教育長より、これをやることによって特別支援教育の向上に必ずつながるとの回答があった。

次に海陽町附属機関設置条例の一部を改正する条例の説明を受けた。これは、学校教育活性化検討委員会の設置をするという条例で、委員より、具体的にどういうことを検討する委員会なのかとの問いがあり、海部高校への補助金の検討に加えて幼小中の学校の在り方などの検討をするとの答えであった。

条例関係は以上で、次に、平成29年度一般会計補正予算の所管の部分に

衛生費574万円は、

郡衛生組合への負担金であった。

教育費315万円の主なものは、エアコン設置に関する調査費小中併せて100万円、四方原公民館畳の張替え14万円、穴喰給食センター空調と冷蔵庫の修繕料98万円などであった。

次に平成29年度介護保



巡視：建設中の給食センター



巡視：改修された穴喰保育所

険特別会計補正予算の説明を受けた。

議案は以上で要望書の審査に入り、2件とも今後の動向を見ながら判断するものであるため継続審査ということになった。

その他に入り、ネコ愛護及び管理に

関する条例(案)について調査をした。また、その他に委員から、牟岐のゴミ施設についてはどうなっているのかとの問いがあり、町長より、綱渡りの運用であるのは間違いないが、今のところ進展はないとの回答があった。

概要は以上で委員会を閉会した。

備蓄品の充実を図る

町 内の福祉施設
等に避難用簡
易トイレ、食料を購
入します。

**福祉避難所等
備品購入
69万円**



海南荘の備蓄品（段ボールベッドと非常食）

環境衛生に活躍

**ニホイルロー
ダー、し尿収
集車両などを購入し
ます。**

**海部郡衛生処理
事務組合
負担金
574万円**



新しいホイルローダー

おいしい給食のために



栄養給食センター

栄養給食センター 空調設備修繕料

空 調設備3機
あるうちの
1機が故障したた
め、取り替えます。

92万円

教育環境の整備に



朝日を浴びる海南小学校

小中学校のエアコン 設置計画調査料

今 後の学校の運
営体制を見据
え、それぞれ状況の
違う町内各小中学校
の教室に、どのよう
なエアコンが最適な
調査します。（小中
学校各50万円）

100万円

海陽町初の議員提案条例可決！！

「海陽町ネコの愛護及び 管理に関する条例」

提出議員 原 ひろみ
賛成議員 長尾 正大

【趣旨】

ネコの適正な飼養に関する事項を定めることにより、動物愛護の意識を高める。
また、環境衛生の保持を図ることを目的とする。

【飼い主の責務】

- 愛情を持って飼いネコに接し、終生飼育する。
- 健康及び安全を保持し、人に迷惑を及ぼさないように努める。

【守るべき事項】

- えさ、水を適正に与えること。
- 病気の予防、健康の保持に必要な検査、予防接種、治療等を行うこと。
- 公共の場所、他人の土地、建物を汚損させない。
- 排泄物を適正に処理する。
- 屋内で飼育に努め、屋外で放し飼いしない。
- みだりに繁殖しすぎて飼育困難とならないよう、不妊、去勢手術など必要な措置を行うこと。
- 名札などを付けること。
- 飼いネコを捨ててはいけない。
- 飼育できなくなった場合に、飼いネコを譲渡するよう努める。

○自ら飼養していないネコには、みだりにえさ、水を与えない。

（※地域ネコに指定している時は、この限りではない）

○条例の違反者には、町長が指導・勧告・命令を行うことができる。

罰則規定はない。

議員提案条例

地方自治法は、「議員は町民の暮らしに直接かわる内容の条例を提出することができる」と定められている。

※地域ネコとは…特定の飼い主がいないものの、地域住民の認知と合意の上で共同管理されているネコ。



飼いネコは首輪をしましょう

請 願 書

○ 大里松原の保全・管理に関する請願書

請願者代表 大里部落長 長谷 栄、以下総代、委員 24 名
紹介議員 長尾 正大

「大里部落」は大里地区の生活を守っている松原の管理・保全を行ってきたが、国の補助金が打ち切られるため、1年に2度の下草刈りが可能な補助金の交付を請願申し上げます。



大里松原で説明を受ける

議会で審議の結果、異議なく採択しました。

陳 情 書

○ 太田天神社付近の住民の避難路の整備について

住民代表 大田公民館長 湊 徳之、他 19 名

浅川大田東の地区は伊勢田川に隣接しており、津波来襲の際には一早く被害に遭う危険性がある。このため、鉄道高架を抜けた小山に避難路の整備をお願いいたします。



避難路予定地を巡視

議会で審議の結果、異議なく採択しました。

本議会での 議案審議

条例について

Q1 町費負担教職員の採用
及び給与等に関する条例



長岡議員

海陽町の小中の勤務状況は調査しているのか。また、時間的にはどれくらいか。

奥原教育次長

教員をビックアップして調査を行っている。1日2時間から3時間の時間外勤務である。

平成29年度
一般会計補正予算(第5号)

Q2 町長選挙及び
町議会議員一般選挙費

〔2556万円〕



三浦議員

衆議院選挙時に開票速報をしたが、今回はどうする予定か。

田村住民人権課長

投・開票結果と中間発表はテレビとくしま等で行いたい。

Q3 沿岸漁業振興事業
補助金

〔314万円〕



三浦議員

浅川釣り筏橋整備とはどういうものか。

横産業観光課長

12m×12mの筏を、堤防の外側に設置する。

Q4 大型共同作業場
建物移転補償金

〔920万円〕



白濱議員

牟岐バイパスと言っていたが、三町共同か。移転先は決まっているのか。

住民人権課長

大型共同作業所は昭和57年に4町(日和佐町・牟岐町・海南町・海部町)が出し合い行われた事業である。それが牟岐バイパス工事の用地に引かかるので、建物移転補償金として均等割額を出し、海陽町は海南・海部の2町分である。移転するといったものではない。

Q5 社会福祉総務費・
備品購入費

〔69万円〕



小山議員

福祉避難所に備品を入れるということだが、継続して行うのか。

浦川福祉課長
平成27年度から始めており、29年度で3年目。主に食料を中心に購入していたが、今回はポータブルトイレのように、品物を変えて資機材の充実を図っていきたい。

平成29年度介護保険特別
会計補正予算(第2号)

Q6 介護サービス等諸費

〔5500万円〕



長尾議員

保険給付費は増加しているが、見通しはどうか。

中野地域包括ケア推進課長

今後も認定者が増えていくと予想されるので、介護給付費も増えていくと思われる。

要望・視察活動

○ 海部郡・安芸郡議長連合会要望活動



徳島県知事に要望

○ 海部道路の早期実現を要望



吉田光市国土交通審議官

○ 議員視察研修



安芸メルトセンター（広域ゴミ処理施設）

○ 台風によるきゅうりハウスの被害対策を要望



県知事に生産者とともに要望

22日 女性議員連盟総会（徳島市）
18日 議会広報編集特別委員会
15日 第4回定例会（2日目）
13日 文教厚生常任委員会
12日 総務産業建設常任委員会
11日 議会運営委員会
11日 海南病院改革特別委員会
11日 第4回定例会（1日目）
4日 議会全員協議会
4日 議会運営委員会

12月

22日 町村議長全国大会（東京都）
21日 議長現地視察研修会（鳩山町・小川町）
21日 台風21号きゅうりハウス被害対策要望（徳島市）
20日 地方自治法施行70周年記念式典（東京都）
27日 四国8の字ネットワーク要望活動（東京都）
16日 国交省・財務省へ要望活動（東京都）

11月

30日 海部郡・安芸郡議長会要望活動（徳島市）
27日 全国環整連全国大会（徳島市）
25日 四国8の字ネットワーク要望活動（高松市）
16日 四国8の字ネットワーク総会（安芸市）
12日 四国町村議長会研修会（松山市）

10月

議会のページ

10月1日から12月31日まで

第4回定例会

議案の審議

平成29年第4回定例会は、12月11日開会、町長より次の11議案が提出され、審議の結果原案どおり可決・承認し、12月15日閉会した。

条例関係

- 町費負担教職員の採用及び給与等に関する条例
- 附属機関設置条例の一部を改正する条例
- 町営残土処理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 町営住宅管理条例の一部を改正する条例
- 市町村総合事務組合規約の変更について

契約関係

- 町道海南柿谷線・神野橋上部製作工事請負契約について
契約金額 9803万円
- 契約相手 ノヴィルパブリックワークス株式会社
- 工 期 議決日の翌日（平成30年3月31日）

予算関係

注釈
↑ 増額
↓ 減額

- 専決処分の承認を求めることについて
- 平成29年度一般会計補正予算(第4号) 1593万円↑
- 平成29年度一般会計補正予算(第5号) 4億3602万円↑
- 平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号) 5500万円↑
- 平成29年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) 30万円↑
- 平成29年度上水道事業会計補正予算(第2号) 83万円↑

請 願

- 大里松原の保全・管理に関する請願
(9ページ参照)

議員発議

- ネコの愛護及び管理に関する条例
(8ページ参照)
- 道路財特法における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書
(下記参照)

意見書

道路財特法における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

提出議員 小山 慎
賛成議員 長岡秀一郎

現在の「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による、地域高規格道路や交付金事業の補助率等の嵩上げ措置の継続措置を強く要望する。

審議の結果、異議なく採択しました。

12月補正予算後の 歳入歳出予算

歳 入	12月補正	補正後	構成比率
町 税	0	6億6,935万3千円	8.4
地 方 譲 与 税	0	5,650万円	0.7
利 子 割 交 付 金	0	70万円	0.0
配 当 割 交 付 金	0	560万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	310万円	0.0
地方消費税交付金	0	1億2,380万円	1.5
自動車取得税交付金	0	950万円	0.1
地方特例交付金	0	80万円	0.0
地 方 交 付 税	9,895万5千円	37億4,368万4千円	46.7
交通安全対策特別交付金	0	100万円	0.0
分 担 金・負 担 金	206万円	6,650万5千円	0.8
使用料・手数料	100万円	7,057万2千円	0.9
国 庫 支 出 金	9,114万6千円	6億6,343万5千円	8.3
県 支 出 金	1億495万6千円	6億2,878万3千円	7.8
財 産 収 入	0	4,471万5千円	0.6
寄 附 金	0	70万円	0.0
繰 入 金	45万7千円	4億3,734万7千円	5.5
繰 越 金	0	2億1,604万6千円	2.7
諸 収 入	2,814万4千円	1億39万5千円	1.3
町 債	1億930万円	11億6,686万5千円	14.6
合 計	4億3,601万8千円	80億940万円	100.0

歳 出	12月補正	補正後	構成比率
議 会 費	0	7,129万4千円	0.9
総 務 費	1,103万6千円	12億4,683万7千円	15.6
民 生 費	2,187万4千円	17億5,059万4千円	21.9
衛 生 費	574万8千円	7億8,562万3千円	9.8
農 林 水 産 業 費	1億3,941万7千円	6億8,304万3千円	8.5
商 工 費	1,306万4千円	2億4,202万3千円	3.0
土 木 費	8,580万1千円	11億3,789万8千円	14.2
消 防 費	△117万3千円	4億6,649万6千円	5.8
教 育 費	315万1千円	6億5,856万4千円	8.2
災 害 復 旧 費	1億5,710万円	1億8,730万円	2.3
公 債 費	0	7億6,478万5千円	9.6
諸 支 出 金	0	359万5千円	0.1
予 備 費	0	1,134万8千円	0.1
合 計	4億3,601万8千円	80億940万円	100.0

継続は力なり

町長 前田 恵



成人式（2018.1.2）

12月に入り、厳しい寒さの毎日で、師走らしい日々となつてまいりました。

平成26年4月の町長選挙において①南海トラフ巨大地震への対応、②少子高齢化問題の解決、③次の時代へ繋ぐ農林漁業振興策の推進、④海部道路の早期事業化、⑤みらい会議の設置、⑥教育・スポーツの振興、⑦地域間交流の積極的な推進を公約に掲げた。主立ったものについて報告したい。

南海トラフ巨大地震への対応については、津波避難タワー、避難路の整備や備蓄倉庫、発電機、避難テント等の設備整備に積極的に取り組んできた。その最たるものが宍喰地区防災公園の計画・基本設計である。

海部道路についても、必ずルート決定・都市計画決定へと動いていくものだと思ふし、そう心から願っている。

少子高齢化問題は、国でも消費税増税を財源と

して、前向きな取り組みが始まりつつある。海陽町でも第三子以降の保育料の無料化や、不妊治療への医療費の助成、子どもあゆみ基金を活用した事業に取り組み、18歳までの医療費無料化にも取り組んできた。

漁業振興については、衰退の一途を辿るとの危機感の中、採貝採藻業の充実化、水産資源の維持、体験漁業の充実化、鮮度維持による付加価値の向上を実施している。

農業振興についても、きゅうりタウン構想を掲げ一大産地を目指した取り組みを進めており、移住定住はもちろんのこと、農業の後継者不足と担い手不足の解消に繋がっている。

林業振興においても、油圧式集材機・プロセッサの導入など、担い手不足の解消と林業の機械化・省力化に取り組んできた。

みらい会議は公約どおり設置し、高校生を始め多くの町民がご参加いた

だいた。みらい会議からNPO法人「あったかいよう」が誕生したことは最大の成果と受け止めている。

また今年度に入り、職員版みらい会議を設置した。①少子化対策、②第一次産業・農業の振興、③サーフィンによるまちづくり、④海部高校の活性化と移住定住に向けた取り組み。町の生き残りに繋がる策を作り上げようとしている。

海南病院問題は、地域包括ケア病床を導入することにより経営も少しずつ上向き、一般財源からの繰入額の減少に努めている。病院改革には医師の確保が最優先である。

まだまだやらなければいけない問題、取り組みなければならない問題はたくさんある。

第一点目に少子化対策である。国の幼児教育、保育無償化の施策を先取りし、拡大することを検討している。また、義務教育費の完全無料化にも取り組むたい。少子化問題の対面にあ

るのが、高齢者問題。認知症問題は、最大の課題である。認知症対策の推進に積極的に取り組みたい。

継続は力なりという言葉がある。町民の皆様方や議員各位のご協力とご支援、そして職員みんなが前を向いて海陽町発展のために力を貸してくれた。政治に取り組む者として一日一日が勝負であり、真剣に取り組まなければならぬ。ロウソクは自分の身を削り、自分の身を燃やしなが周囲を照らし暖める。私もそうありたい。

この四年間、常に前を向き町民目線で、町民の幸せのみを考え、安全で安心な町づくりのために走り続けてきた。皆様方のご理解とご協力、ご支援がいただけるものなら、やり得なかつたこと、できなかったことに、再度挑戦してみたい。町には未来が必要。子どもの声の響く町、生き心地・住み心地の良い町を目指し、継続は力なりとの思いを胸に、引き続き町政を担当させていただきたく思う。



長尾 正大 議員

問 自分の町を愛している人を育て、地域の活性化に繋げるため、少人数化をメリットにした教育計画は。

答 奥原教育次長

ICTの活用による情報の収集、交流の機会を広げ、英語教育の推進により視野を広げる、地域と協働の学習により地域を思う気持ちを高めることを実施中。教育振興計画に沿って取り組んでいく。

問 海部小学校でのタブレット利用について、今後の発展は。

答 教育次長

海部小学校のタブレット導入は平成28年度、29年度で穴喰小・中学校、海南小学校に導入予定。30年度には海陽中学校に導入を検討。

問 穴喰小中学校でのコミュニティ・スクールについて、メリットは。

答 教育次長

コミュニティ・スクールとは、地域と学校の合議体である学校運営協議

会。地域と学校が理解を深め合い、活性化を目的として話し合う機関。穴喰小中学校で、平成30年度より本格実施する予定。メリットは、学校と地域で理解や連携が深まる。遠隔地の小規模化でしかできない地域との協働を推進した学校教育を進める。

問 今年の3月に提示された新学習指導要領を見ると、教育の方向がガラッと変わっている。その新学習要領に沿った計画は。

答 岡田教育長

海陽町の5点重要施策で、①英語教育の推進体制の確立、②ICT教育機器活用推進体制の確立、③郷土に誇りを愛する気持ちを持てる郷土学習の推進、④地域と共同する学校教育に向けて、学校教育と社会教育の融合体制の推進、⑤複雑化する教育に対応できる資質の向上。優先順位を付けて、一つずつ進めて行く。

問 穴喰小中一貫校の案を聞いた。もともと学校の統合について5年間は

津波に対してのハード面の備えは

〈町長〉地域防災計画を踏まえ検討していく

問 津波に対してのハード面、構造物等は、現在どのように進んでいるのか。

答 片田危機管理課長

津波避難タワーが1基、緊急避難場所が77ヶ所整備されている。穴喰防災公園は近々詳細設計を発注する段階。穴喰地区国道55号の液状化対策は終了。浅川地区の海岸堤防は、かさ上げの工事が実施中。

問 今後4年間で防災面から、どういう町の絵を描き、それに向けて今後何をするのか。

答 前田町長

穴喰・海部・海南地区防災公園はインター

チェンジの位置等も踏まえ、全体的な将来像を揃えていきたい。津波避難タワーも民家から250m以内等に設置したい。ハード面の整備は十分協議をし、地域防災計画を踏まえ検討していく。

問 次出馬するのであれば、公約は。

答 町長

海陽町が取り組まなければならない課題・問題等は決まっている。町の4年後の未来を考え、ソフト面では教育・少子化問題、ハード面では津波災害対応等、危機管理。その上に防災公園、海南病院問題、高齢化問題等々、それらを公約に挙げるかと考えている。



頼りになる津波避難タワー



三浦 茂貴 議員

問 2年後に国がやる予定の幼児教育保育の無償化を先取りしてやるといふことで、2年間で約4000万円の財源が必要となる。実質、国が無償化するの3歳から5歳児に限られているので、恒久的に0歳から2歳児の保育料は町で負担することになる。それに加え、入所者が増えることによる保育士の確保も心配になるが、どのように考えているのか。

答 前田町長 特定目的基金を作つて、その中であゆみ基金と一緒にやっていくことも十分可能である。保育士不足は、退職された方も含めて再度お願いし、確保に努めたい。

問 学校給食の完全無料化は、いくらの財源が必要となるのか。

答 奥原教育次長 年間約3140万円必要となる。

私は、この地に帰って地元就職すれば奨学金を免除する施策を提案したい。ここに帰ってきてくれるだけで、国勢調査人口一人当たり年間約20万円の交付税が国からもらえる。財源も視野に入れ、恒久的に続くような少子化対策を考えていただきたい。

問 ふるさと納税は、以前から私が提案している

が、今後の展開はどのように考えているのか。

答 佐藤総務課長 お礼品のさらなる充実を図っていきたい。また、使い道を設定して、共感した方から寄付を募る仕組みをつくりたい。

私は、役場にふるさと納税専門の担当職員を置き、民間と力を合わせてどんどん広報もし、積極的に進めていかなければ、寄付額は伸びてこないと思う。

問 教育関係は、具体的にどのような思い切った投資と改革を考えているのか。

答 町長 ICTや機械設備の充実、英語教育の推進、国外・国内留学など、学校教育と社会教育の融合を進めていかなければならない。給食費の無料化も一つの投資になる。

私は、海陽町の保育所・小中学校を卒業する10年間

で、日常会話が話せるような英語教育カリキュラムをつくる。またテレビ電話のような、ここにいながら世界中の人たちと会話ができる無料のシステムもあり、生涯学習や部活動にも応用できる。新しい技術の積極的な活用と発想で、ここに居ながら一流の指導が受けられるような施策を考えて欲しい。

海南病院は、ふるさとで最期を迎えられるような終末医療の受け皿としても、重要である。包括

医療の拠点として社協や介護施設、地元開業医とも協力体制を持って、住民の健康福祉や病児病後児保育など、医療以外にも地域貢献できる病院としても考えていくべきである。

問 高齢者の生きがいづくりと健康について、今後どのような事業を考えているのか。

答 中野地域包括ケア推進課長 お互いに支え合えるような地域、互助の力、そういう事業強化に取り組んでいきたい。

私は、海陽町で大きな大会を開催できるグラウンドゴルフの拠点整備を提案したい。

問 町の活性化には住民の仕事を作るといふことが重要であるが、具体的にはどのようなことを考えているのか。

答 戒谷まち・

みらい課長

ハローワークとの連携を図るとともに、民間企業との連携組織による移住支援、就労支援や町内での起業に対する支援を行っている。また、町内各企業や事業所、関係機関と連携を図り多様な「働く場」を提供する場づくりを行い、生涯にわたって活躍できるまちづくりを目指す。

私は、仕事の斡旋・相談できるような、みんなが利用しやすいセンターの設置を提案したい。また公共事業も、なるべく地元業者が仕事をとり、そこに雇用が生まれ、経済が回るような仕組みを考えていく。

合併の最大の目的である経費の削減について、経常収支比率は前任者から前田町長が受け継いだ時、72%だったものが77%にまで増えている。人件費を抑制し、職員の個々の能力を高め、最大限に発揮できる組織作りをしなから、みんなが共有できる将来設計を立てた上で、今どこに投資するべきなのかを熟考して、行政を進めていかなければならない。



イングリッシュ・デイ・キャンプ

低料金で永代供養できる 納骨堂を開設できないのか。

〈保健環境課長〉慎重に判断したい



原 ひろみ 議員

問 海陽町は人口9644人、65歳以上4178人で高齢化率43.32%。65歳以上単身世帯1264世帯で26.98%、夫婦世帯は790世帯で16.86%。ますます少子

高齢化が進む海陽町では、墓守をする後継者がいない家庭が増加している。高齢者にとつて、今後墓をどうするのかという問題は、終活の一番大きな課題となっている。墓終いをして子どもに住む所に移転することや、寺の永代供養にも高額費用を要するため問題点がある。低料金で永代供養のできる納骨堂を町でつくってほしいと求める声が増えている。町として対策を考えているのか。

答 長江保健環境課長

具体的な対策は、できていない。納骨堂は設置場所の選定や規模、管理など様々な問題がある。ニーズ等の把握をし、必要かどうか慎重に判断したい。

問 独居世帯や夫婦世帯のみにアンケートをとる、現状を把握する必要があると思うがどうか。

ゴミ削減のための 廃品回収の 収集方法の改善を

.....

答 保健環境課長

アンケート内容を精査し、慎重を期する必要がある。

高齢者がどんどん進む町は、早い対応が必要である。早急なアンケート調査をしてほしい。

問 ひとり住まいの世帯には終活相談や、死後事務委託契約などの支援も必要と思うがどうか。

答 保健環境課長

専門的な知識も必要となるので、無料の法律相談などを利用していただきたい。

〈町長〉 三町で協議していきたい

問 地球温暖化が進み異常気象・集中豪雨・海水温の上昇など、我々の生活に様々な影響を及ぼしている。他人事でなく、将来の子どもたちのためにも、しっかりと対策をする必要がある。

今、我々に何ができるのか。CO₂削減、環境汚染を少なくするためにも「3R運動」をする必要がある。リデュース（ゴミ量を減らすマイバック運動）、リユース（一度使った物をゴミにせず何度も使う）、リサイクル（再生資源として再生利用する）。しかし、ペットボトルや缶はリサイクル回収できるが、新聞紙はできていない現状である。

ため、仕方なく焼却ゴミに出す人もいる。資源分別回収日に、新聞紙もリサイクル回収できるようにならないのか。

答 保健環境課長

リサイクル品は海部郡が品目を統一した内容で回収を行っており、美化センターの受入体制等の調整が必要になる。

問 小中学校、保育所、消費者協会など廃品回収は、活動費充当にも絶対必要である。町民一体でゴミに出さない対策を、海部郡内で話し合っているのか。

答 前田町長

リサイクルの取り組みが遅れていると思うので、三町で協議していきたい。

現在、ゴミ焼却場問題やゴミ焼却に掛かる費用の削減のために、ゴミの減量化に極力取り組まなければならない。地域住民や団体でマイバック運動や廃品回収に努めているが、高齢化と人材不足となっている。新聞を家に保管する場所がない

問 新聞紙を保管できるような場所や、屋根の付いた箱等を各地域に設置できないのか。

答 保健環境課長



利活用を待つ古新聞

問 ゴミ収集の先進地である上勝町に学ぶ必要がある。将来を考え、今こそ決断し、挑戦する時である。地球温暖化防止のための意識改革をするための講演会などを開催してはどうか。

答 保健環境課長

全体的な講習会というより、小さな単位での説明の方が効果があると考えられる。地域の会合等に参加し、説明を行ってきたい。

新聞紙がリサイクル回収できるようにすれば、対策を考えたい。

まぜのおかに達する町道を計画しては



長岡 秀一郎 議員

〈町長〉早急に具体化すべき重要施策

問 まぜのおかは県南の防災拠点として、県により整備が進み大規模な防災訓練が実施されている。しかし、南海トラフを震源とする地震・津波発災時には、進入路すべて浸水し、その機能は十分果たせない。対策として国道55号ルート坂周辺から東にスベリ坂を越え、まぜのおかに達する町道を計画してはどうか。

答 東谷建設課長

まぜのおかから病院のある大里地区までの町道は寸断される可能性が高く、相互に行き来ができない状況が懸念される。26年の12号台風により国道55号・町道浅川川東線が浸水で寸断されたこともあり、将来の対応方針などについて検討を行ってきた。

答 前田町長

海部道路のルート決定・インターチェンジの位置など、関連性があると思う。また将来の発展性等、周辺道路のことも考慮した上でルートを決めなければいけない。今後、県や国と協議を進めながら、早急に具体化すべき重要施策である。

問 海南病院の進入路は冠水してしまう。新設された、町道より直接病院への侵入道路計画と、山頂部に海南特養の移転を計画してはどうか。

答 町長

重要課題として取り組んでいきたい。

特養は、3町で議論していきたい。

問 県道上皆津奥浦線村山入口付近の、一部工事が停滞している。その理由と、今後の展望は。

答 建設課長

理由は、工事に関係す

県道芥附海部線 櫛川改良工区の完成は

〈町長〉一日も早い開通に結びつけたい

問 国道55号の穴喰海部間の迂回ルートとして、事業に着手している。未開通部2.2kmのうち、900mは工事が進んでいるが、完成に向けての計画は。

答 建設課長

県の最重要課題として取り組んでいくと知事は言われているが、いつ完成かということまでは明言していない。

答 町長

精一杯要望し、一日も早い開通に結びつけたい。

問 東日本大震災から6年経過し、住民の災害に対する意識が少し薄れてきている。行政として高い防災意識と緊張感を持つて、取り組むことが望まれる。町長として防災に対する思いは。

答 町長

啓発については、危機管理課を中心に、出前講座や各種会合を通じて、防災意識の高揚に努めている。

ハード事業については見直し等も行い、優先順位を付けて取り組んでいきたい。



工事が進む芥附海部線

活動内容を教えてください。

毎週火曜日と金曜日の18時から、奥浦町民グラウンド（旧海部中学校グラウンド）で練習をしています。小学生から一般まで幅広い年齢層の者が、それぞれの目標（大会・記録）を目指して、楽しい中にも真剣に走っています。

クラブといっても会則や会費はなく、小学校高学年からなら誰でも、いつでも走ることができます。興味のある方は、どんどん参加してください。



年齢に関係なく楽しんでいます

海陽町のいいところは？

自然が豊か。温厚な気候。優しく親切で人情のある人が多い。



目標に向かって頑張っています



寒さに負けない！

海陽町に対する要望はありますか？

町民の中には、ウォーキングやランニングを楽しんでいる人が多くいます。ほとんどが堅い路面の道路で行っています。けがや事故のことを考えると、松原やまぜのおかなどに柔らかい土や芝生、ウッドチップのコースを整備してはどうでしょうか。

議会だよりを読んでいますか？

一般の人は必ず読んでいます。中高生はあまり読んでいないので、これを機会に読んでくれると思います。



この議会で町長、議会議員の選挙の予算が決まりました。選挙は一般の人が町政に対して、意思表示をする大切な機会です。投票はもちろんのこと、自分が立候補することも含め、町の発展につながる良いきっかけとなることを願っています。

議会だよりは見出しを大きくし、文章も短く簡潔に心を掛け、写真を多くしてイラストを入れるなど、難しくながちな議会の活動が皆様はどうしたら分かりやすく伝わるだろうかと、考えながら編集しています。

これからも、より良く議会活動を知ってもらうために丁寧に紙面を作り、それが分かりやすいと感じていただけたら幸いです。

（長尾）